

事業支援室

総務委員会事業計画（案）

委員長候補者 土田 誠

1. 基本方針

1 長岡 J C は創立以来、地域のさらなる発展を目指し活動してきました。私たちには、先
2 輩諸氏の志と功績を引継ぎ、これからも夢あふれる社会の創造に向けて地域とともに歩み
3 続ける組織でなくてはならないという使命があります。だからこそ私たちは、時代や環境
4 が変わり、メンバーの世代交代を重ねても、これまでと変わらず常に「今」の地域に必要
5 なことを的確に立案実行できる組織であり続けなければなりません。

6 まずは、総務委員会が長岡 J C を現在の環境に適応した活動を行える組織とするために、
7 これまで受け継がれてきた会議手法の検証と改善を行い、長岡 J C 全体に波及する体制を
8 整えます。そして、メンバー一人ひとりが本年度の進むべき指針を共有し、一丸となって
9 活動していくために、自らに与えられた立場に使命感を持ち、活動の意欲を高められる新
10 年例会を執り行います。さらに、理事会を実行性の伴った効果的な計画に導く場とするた
11 めに、理事としての資質を向上させ使命感を高める学びの場を設けます。また、各委員会
12 が与えられた担いを全うするために、委員会スタッフが責務と役割を自覚し適切な委員会
13 運営の手法を学ぶ場を設けます。そして、長岡 J C が地域の課題解決に効果的な活動を行
14 うために、事業構築の適切な工程をメンバー全員が継続的に学べる環境を整えます。さら
15 に、長岡 J C がこれまで積み重ねてきた「今」を次代へと繋ぐために、理事長引継ぎ式を
16 執り行うとともに、ご卒業生の積み重ねてこられた活動の功績を称え、次年度以降を担っ
17 ていくメンバーの新たな活力となる卒業例会を設営します。

18 「今」の地域の課題解決に対して的確な計画を立案実行できる組織となった長岡 J C は、
19 成長を続ける人財を礎として、時代環境の変化やメンバーの世代交代を重ねても、夢あふ
20 れる社会の創造に向けて地域と共に歩み続けることができます。

2. 事業計画

(1) LOMの事業構築支援

事業構築を円滑に進めるにあたり、事業計画書の作り方、スケジュールリング、状況や目的に応じた会議手法や委員会運営の方法をメンバーに伝えます。また、それぞれの役割に応じた役割を周知することで、使命感、責任感を醸成しモチベーションを高めます。

(理事セミナー、正副幹事セミナー、事業計画書作成セミナーの設営)

(2) 長岡JCハンドブックの制作

長岡JCメンバーが活動する際の指針となるよう、長岡JCハンドブックを制作します。

(3) 新年例会の設営(1月)

1年の始まりにその年のスローガンや目標など長岡JCの活動の指針を共有し、メンバー一人ひとりが今年度自らに与えられた立場に使命感を持ち、活動の意欲を高められるよう、厳粛な新年例会を執り行います。

(4) 総会の設営(2月、6月、11月)

長岡JCメンバー全員へ総会の意義を周知し、最高決議機関である総会において、長岡JCの運営や未来に関わる重要な会議の場に積極的に関わり、全メンバーが責任をもって自身の持つ議決権を行使できるよう、長岡JCメンバー全員の参加を目指します。

(5) 理事会の設営

理事メンバー全員へ理事会の意義を周知し、現在の環境により適応した会議手法を用いて、より実行性の高い事業に導けるよう理事会を設営します。

(6) 中間監査・期末監査の設営(8月、12月)

委員会活動が円滑に行われているか、理事会・総会の承認を得た事業が計画通りに実行されたのかを確認するため、中間監査・期末監査を滞りなく設営します。

(7) 卒業例会の設営(12月)

理事長引継ぎ式を執り行うとともに、ご卒業生の積み重ねてこられた活動の功績を称え、次年度以降を担っていくメンバーへの新たな活力となる卒業例会を盛大に設営します。

3. 会員拡大

長岡青年会議所の人も組織も成長できる学び舎としての魅力を伝え、共に成長し組織を活性化させる意欲のある4名以上の会員拡大を行います。